

〔具体的な改善点〕

- ア. 記入する内容の多少により、欄を広くしたり狭くしたりできるようにした。
- イ. 必要に応じ、欄内を小項目に分け、同一内容による縦の関連が明確になるようにした。
- ウ. 実施する対象を記号で区別した。
  - …… 学年ブロックで行う。
  - ★ …… 研修委員会で協議する。
  - ◇ …… 一般研修の内容として個人ごとに行う。
- エ. 「現職教育等」の欄を、「教師会合等」と「校外会合等」の欄の中間に置くことにより、他の会合等との関連を見ながら、個人や学年ブロックの研修日程が立てやすいようにした。

(2) 研究の考察

〈改善・工夫に対する検証結果〉

1. 授 業 研 究 会 の 進 め 方	(1) 焦点化した話し合いができるように授業研究会の進め方について、研修委員会から基本線が出され、9月、11月と実践を進めてきました。実際に運営してみてどうであったか、お聞かせください。(あるだけ○を付けて下さい。)	※ 「エ」に○を付けた方にお伺いします。「焦点化されなかった」ことの原因は、どんなところにあるとお考えでしょうか。
2. 月 行 事 表	8月から従来の予定表の欄や内容を変更し、3か月余り使っています。このことについて、お考えをお聞かせ下さい。 (1) 「現職教育等」の欄について、当てはまる方に○を付けて下さい。 ア. 使いやすい……………100% a. 他の諸行事・会合等との関連がよく分かるから (40%) b. 月の研修日程・内容の見通しが持てるから (40%) c. 記号によって、誰が・いつ・何を研修するかが分かるから (20%) イ. 使いにくい……………0%	(2) この欄を設けたわらいの一つに「学年ブロックの授業研究会を中心にした研修がやりやすいようにする」ということがあります。 この点について、実際に使ってみて役立ったかどうかお伺いします。 ア. 役立った……………100% a. 学年ブロックの授業研究を行うとき参照した (53%) b. 他の学年ブロックとの関連が分かり、学年ブロックの研修日程を立てるのに便利だった。 (47%) イ. とりたてて役立ったとは思わない 0%

平成3年11月22日調査実施(一部割愛)

〈考 察〉

① 研修委員会の運営改善

- 研修主任に働きかけ、研修日の日程と内容を具体化し、改善した月行事表の中に明記することによって、研修委員をはじめとする教師への研修日に対する意識化を図ることができた。
- 授業研究会の進め方について、事前・事後の協議内容を焦点化したことにより短時間でも話し合いを効果的に進めることができた。
- 他のブロックの授業を自由に参観することによって、発達段階に応じた学習訓練や指導内容の系統性を授業を通して把握することができた。

② 月行事表の工夫・改善

- 改善した「月行事表」は、他の諸行事・会合等との関連や研修日程・内容が分かり、学年ブロックの授業研究を主体的に進めるために効果的であった。

6. 今後の課題

- (1) 授業案について十分練り上げ、質の高い学年ブロックの事前研究を行うために、事前研究会の段階から校長・教頭の指導を受けながら、更に計画的に進める必要がある。
- (2) 授業研究の成果や課題を生かしながら、更に発展的に研究を進めるためには、年間又は学期を見通した研修日程の組み方を検討する必要がある。

(参考文献 省略)